

2010 世界日語教育大會論文發表之相關注意事項

2010ICJLE 籌辦委員會於 3 月 6 日審查會議中，就論文發表之相關事宜達成以下決議，謹此告知。

一、 發表時間

- (1) 一般論文發表：25 分鐘。(發表 20 分鐘，提問 5 分鐘)
(共同發表亦同。共同發表：由多位發表者就同一主題進行發表)
- (2) 專題討論 (Panel section)：90 分鐘。(包含司儀、發表、提問時間)
(分組發表：由多位發表者針對某一主題創設三個以上的子題進行發表)
- (3) 海報發表：展示時間 90 分鐘

二、 論文初稿撰寫形式

- (1) 論文全文的格式
字體：12pt MS Mincho
邊界：上下 2.54cm 左右 3.17cm
字行數·字元數：38 行 x38 字
頁碼：不需附加
附註：10pt，於文件最末頁附註(請勿使用隨頁附註)
參考文獻：12pt MS Mincho
檔案形式：僅接受 PDF 檔
頁數：
 - a. 一般論文發表：限 10 頁 A4 尺寸、4MB 以內
(包含第一頁與所有附註)
 - b. 專題討論：限 30 頁 A4 尺寸、12MB 以內
(包含第一頁與所有附註)
 - c. 海報發表：限 10 頁 A4 尺寸、4MB 以內
(包含第一頁與所有附註)
- (2) 第一頁的格式
 - (A) 論文題目 (粗體)
 - (B) 所屬機關：論文題目下依作者的所屬學校、學系、研究單位的

順序設定「置中對齊」

(C) 作者姓名：置中對齊

(D) E-mail

(E) 關鍵字：5 個以內

(F) 本文

(G) 附註

(H) 參考文獻

※關於論文格式的設定可至本大會首頁點選「論文格式」參考詳細說明。

三、受理論文上傳期間：2010 年 5 月 16 日至 2010 年 6 月 30 日

(1) 專題發表(Panel section)僅需一名代表上傳一次該組發表之論文，切勿將相同內容之檔案重複上傳。6 月 30 日之後，本大會將不接受欲修正論文內容之任何請求。

(2) 論文發表者須於規定受理期間內將論文上傳完畢。超過受理期間而未上傳之論文，將無法刊載於大會論文集，敬請見諒。

四、 本大會預定將論文發表初稿製作為數位化資料(DVD)，並於會議當日發予全體與會人士，惟發表者認為需要論文紙面資料者，請自行準備 40 份於當天攜至會場，以供與會人士逕行索取。

2010 世界日本語教育大会の論文発表についての連絡事項

2010ICJLE は 3 月 6 日の運営委員会で論文発表について下記の通り決定いたしましたので、ご連絡いたします。

一、 発表時間

(1) 一般論文発表：25 分（発表 20 分、質疑応答 5 分）

（共同発表も同様。共同発表：一つのテーマを複数人で発表）

(2) パネル発表：90 分（司会、発表、質疑応答の時間を含めて）

（パネル発表：互いに関連あるテーマの論文三本以上を一つのグループが発表）

(3) ポスター発表：展示時間 90 分

二、 予稿集の作成について

(1) 論文の書式

活字：12pt フォント、MS Mincho

余白：上下 2.54cm 左右 3.17cm

字行数：38 行 X 38 字

頁号：不要

附註：10 ポイントで後注（最後のページに）

参考文献：12pt フォント、MS Mincho

送付ファイル：PDF ファイルに変換

枚数：

a. 口頭発表：A4 サイズで 10 枚まで、4MB 以下

(附註を含めて)

- b. パネル発表：A4 サイズで 30 (一つのグループで) 枚まで、12MB
以下

(附註を含めて)

- c. ポスター発表：A4 サイズで 10 枚まで

(附註を含めて)

(2) 第一ページの書式：

- (A) 論文テーマ (ゴシック体)
- (B) 所属機関：論文テーマの下に作者の所属学校、学科または研究機関の順に「中央揃え」で
- (C) 作者姓名：中央揃え
- (D) E-mail
- (E) キーワード：五つ以内
- (F) 本文
- (G) 附註
- (H) 参考文献

※ 論文書式については本大会のホームページの「論文書式」サンプルをご参照ください。

三、 論文アップロード受付期間：2010年5月16日～2010年6月30日

※ パネル発表の場合、代表者が当パネル発表論文のアップロードの手続きを一回だけ行ってください。同じ内容のものを二回以上アップロードしないようにご注意ください。なお、6月30日以降、論文内容の訂正を受け付けないことをご了承ください。

※ 論文発表者は必ず受付期間内にアップロードしてください。受付期間を過ぎた場合、大会論文発表予稿集に掲載できないことをご了承ください。

四、 本大会は DVD 版の発表予稿集を作成し、大会当日に参加者に配布する予定ですが、発表時にプリントアウトしたものが必要な場合は、発表者ご自身で四十部程度ご用意いただき、当日発表会場にご持参ください。

以上

〈論文書式〉 サンプル

小田切万寿之助の研究－明治大正期中日関係史の一側面

政治大学外国語学部

于乃明

Icjle2010@gmail.com

キーワード：小田切万寿之助、中日外交、中日関係、盛宣懷、

本文：

附註：

参考文献：